透析導入クリニカルパス

ID：＿＿＿＿＿＿＿＿　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿様

主治医：　　透析室担当看護師：

導入回数	導入前日	導入当日（1回目）	2回目～6回目	退院まで
観察	看護師が体温・血圧・症状（頭痛・吐き気・食欲・むくみ）の変化を観察します。 バスキュラ-アクセスの状態を観察します。 			
食事	透析食になります。昼食は透析終了後、病棟に戻ってからになります。 食事のカロリー・塩分・タンパク質量は医師の指示で決ります。			
	食事の摂取量や一日に飲んだ水分量を確認します。 飲水量は医師の指示に従いましょう。 			
清潔	入浴できます。	透析前に石鹸を泡立てて、針を刺すところを洗いましょう。		
		透析後は身体が疲れていますので、無理せず身体を拭く程度にしましょう。	透析前に石鹸を泡立てて、針を刺すところを洗いましょう。 医師の指示にて入浴できますが、透析日は控えましょう。 	
排泄	毎回尿量を測ります。便通は看護師が検温の時、確認します。 透析中はベッド上にて排泄となります。 			
診察 処置	病棟または外来で診察します。	週3回血液透析を行います。 透析日は腎センターで、透析の無い日は病棟で診察します。 		
検査	適宜、血液検査・レントゲン検査・CT検査・心電図・便潜血検査をします。透析日にレントゲンがある場合は透析前に、採血は腎センターで行います。  			
薬物療法	医師の指示通り内服してください。 	内服薬を検討します。 中止や注射薬の変更、透析中に使うものもあります。	内服薬、注射薬があります（状態により内容が変わります） 	
説明	・医師が透析について説明をします ・透析室看護師が訪問し、スジュールや必要物品などについて説明します 	・今後の予定を確認します。不安に思うこと・心配に思うことは遠慮なくスタッフにお尋ねください ・透析導入期マニュアルに沿って説明していきます ・自己管理手帳（または健康管理記録用紙）をお渡しします ・医療相談員より身体障害者手帳と医療費について説明があります。ご家族も腎センターの見学ができますので申し出てください	・透析看護師がパンフレットに沿って、生活の注意事項等について説明します ・体重や血圧、体調の変化などを自己管理手帳（または健康管理記録用紙）に記録していきましょう ☆6回目の透析で退院を目標とします ・医師が、病状説明と退院後の生活について説明をします ・今後の維持透析施設について、医師や透析室看護師・医療相談員などが情報提供します ・紹介状を持参して見学に行きましょう（透析6回目までに転院先が決まる）	
				退院時に施設あての文書をお渡ししますので、転院先にお渡しください。
指導	管理栄養士が、透析食の指導を行います。 薬剤師が、薬についての指導を行います。  		管理栄養士が、透析食の指導を行います。 薬剤師が、薬についての指導を行います。  	
目標	1. 透析の必要性がわかる	2. 透析中の苦痛が最小限に抑えられ、安全に治療が受けられる	3. 説明・指導を受け自己管理法について理解できる	4. 退院の受け入れでき、安心して退院が迎えられる

*症状、経過によってはスケジュール通りにならない場合があります。

2006年12月作成（2024年6月改訂） パス委員会承認　聖隷浜松病院　腎センター・B4病棟